

校長室だより No 3

2018年 4月25日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

「朝の学校図書館がさらに進化しました」

昨年度3学期から、中原町会7名の方のボランティア活動によって、火曜日と木曜日の朝の学校図書館開館が実現しました。開館した日には、図書館で本を読む子、借りていた本を返しに来る子など、15名から20名前後の子たちが訪れていました。

今年度は先週17日からボランティアの方も1名増えて8名でスタートしました。

昨日朝の活動終了後のミーティングが行われ、月曜日から金曜日まですべての曜日の開館と返却だけでなく、貸出にも対応して下さることが決まりました。

それぞれの曜日をご担当して下さるボランティアの皆さんです。

月曜日 荒巻さん 須藤さん

火曜日 須藤さん 落合さん

水曜日 老後さん 横里さん 芳口さん

木曜日 横里さんご夫婦 関さん 芳口さん

金曜日 老後さん 落合さん

7時50分から8時15分の25分間開館をしていただきます。

高学年で部活動の活動をしている子供たちも、教室に戻る途中に寄るなど、計画的に本を借りたり返したりして、読書生活を大切にする子供になって欲しいと思います。



「柏市の学校図書館で学んだ子供たちは・・・」

昨日、柏市教育委員会の方々が6年生の図書館オリエンテーションの授業を視察され、「こんな授業を受けていたら、もっと本を使う生活をしていただろうな」とおっしゃっていました。確かに小中学校時代の図書館の利用は、大人になってからの行動に違いがあると思っています。先日次のようなエピソードをいただきましたので、ここに紹介します。

柏市で図書館アドバイザーをして下さっていた先生から、先日久しぶりにお電話をいただきました。現在東京学芸大学で司書教諭養成の仕事をしていらっしゃる方ですが、今年は、國學院大学の司書教諭養成講座でも指導することとなり、そこでの出来事についてでした。

初めての授業の際に学生に自己紹介をさせたところ、3人の学生がブックトーク（本の紹介をすること）を入れた自己紹介をしたとのこと。他の学生たちは月並みな自己紹介だったのにも関わらず3名だけずば抜けていたため、出身地を聞いたそうです。すると3名とも柏市の出身者で、柏中・光中・大津中の卒業生だったそうです。

昨日の6年生の授業でもブックトークで発表をしていたように、それぞれの学生たちは小中学校で習ったことを活かして自己紹介をしたとのこと。柏市立の学校で学んだ子供たちが図書館の学習で習ったことを活かしてユニークさを発揮していることを大変うれしく思いました。このアドバイザーの先生とは15年前に教育委員会で一緒に学校図書館改革を立ち上げた方でしたので、当時を思い出しながら喜びました。今年の大学1年生は、平成18年頃の小学校入学ですから、柏市の学校図書館が変わり始めたころに入学をした子供たちの、十数年後エピソードでした。